

様式第 3

会 議 録

会 議 名	令和 7 年度野田市自立支援・障がい者差別解消支援地域協議会 第 1 回 子ども部会・医療的ケア児者支援部会・相談支援部会（専門部会）
議題及び議題毎の 公開又は非公開の 別	議題 1 ライフサポートファイルについて（公開） 2 その他（公開）
日 時	令和 7 年 7 月 3 日（木） 午後 1 時 3 0 分から午後 3 時 4 0 分まで
場 所	保健センター 3 階 大会議室
出 席 委 員	【子ども部会】 金 隆 史 小林 公平 小林 幸代 並木 徹 渡辺 梨絵 田中 愛子 初見亜希子 小山田瑞木 石山 紀子 里見 敦子 古瀬奈津代 小野 俊郎 【医療的ケア児者支援部会】 上野 友和 白石 直美 石垣 幸子 水沼 幸恵 石井千賀子 脇屋 春栄 渋谷かずえ 嘉門 美希 岩澤 文 【相談支援部会】 五十嵐孝子 小野瀬幸子 亀井 宏純 久保 貴寛 古藤 栄一 澤村 浩史 鈴木 千尋 田口 陽子 中村 成彦 仁木 純子 橋本 諭 橋本 竜也 小林 謙介 石川 友
欠 席 委 員	【子ども部会】 渡辺 祐太郎 染谷 和則 【医療的ケア児者支援部会】 杉山 浩志 新村 秀樹 【相談支援部会】 笹木 美来 高橋 雅子 戸邊 里水 野村 祐一 若林 佳誉子 今村 素美子 内田 朋宏 堀上 翔大
事 務 局	大月 加奈子（障がい者支援課 課長） 飯塚 純子（障がい者支援課 相談支援係長） 宇佐見 千紘（障がい者支援課 相談支援係主査） 高倉 千雪（障がい者支援課 相談支援係主任主事）
傍 聴 者	5 人

議 事	令和7年度野田市自立支援・障がい者差別解消支援地域協議会 第1回 子ども部会・医療的ケア児者支援部会・相談支援部会（専門部会）の会議結果（概要）は、次のとおりである。
事務局	1 開会 令和7年7月3日午後1時30分、開会した。事務局から欠席委員が12名いること、傍聴者が5人いることを報告する。会議録作成のため録音機を使用することの了解を得た。 【委嘱状等の交付について】 事務局より、人事異動による委員選任について説明。 以降、次第に基づき進行。
子ども部会長	2 議題 議題1 ライフサポートファイルについて 本日の専門部会の目的は2つあると考えている。 1つは、障がいのある子どもが成長する段階で、その情報が上手く共有されない現状があることを共有したい。ライフサポートファイルは、その現状をカバーする手段なので、活用方法を検討したいことが2つ目の目的である。 障がいのある子どもの情報共有について、上手くいったケースがあれば、子ども部会委員から発表してほしい。
子ども部会 渡辺委員	野田市肢体不自由児者父母の会の会員にライフサポートファイルを配付し、記載してもらった感想を発表する。 子どもの障がいが判明した時点で記入し、成長とともに追記していけばよいと思われる。このファイルがあれば、障がいのある子どもの入園や進路先などライフステージの変わり目に関係機関と情報共有することができ。支援者が初めて子どもと関わる時に、本人のこだわりや言葉にできないが感じていること等について把握し、支援してもらえと思う。 また、保護者は年齢を重ねていくので、災害等の有事の際に本人がファイルを携帯していれば、支援方法が分かると思う。ただ、大きくて持ち運べないことや個人情報の関係から、本人がずっと持ち歩くことは難しいと感じている。
子ども部会 田中委員	発達障がいのある子を持つ保護者の集まりで、ライフサポートファイルについて周知していたが、記入している保護者はいない現状にある。 放課後等デイサービスを利用する際にライフサポートファイルと同内容のものを記載していると聞くため、このファイルを事業所に提出することで保護者の負担が減れば、書く動機につながるのではないか。
子ども部会	情報共有で困った事例はあるか。

小林部会長	
相談支援部会 五十嵐委員	中核地域生活支援センターで障がいのある本人を支援しているが、本人を次の支援機関につなぐときに本人や家族が、再度、同じ内容を話さなければならないことがある。 ライフサポートファイルの内容を見ると、障害基礎年金の申請や就職のときに活用できるものと思われる。
子ども部会 小山田委員	小学校では、特別支援学級と通級指導教室に在籍する児童について、個別の教育支援計画を必ず作成しており、決められた書式がある。ライフサポートファイルがあれば、重なる部分について参考になる。
子ども部会 小野委員	特別支援学校でも個別教育支援計画等や児童及び生徒の様子について記録を作成する。ライフサポートファイルと重なる部分については、それを学校と保護者で共有したり、正しい情報を共有したりできるとと思われる。
相談支援部会 橋本諭委員	千葉県として統一したライフサポートファイルの様式があれば転入・転出した場合にも活用しやすいと感じた。 また、相談支援専門員としては、初回アセスメント時に活用できると感じた。ただ、支援が必要な家庭は、保護者がライフサポートファイルを記入できないと思われる。
医療的ケア児者支援部会 水沼委員	訪問看護事業所では、必要に応じて医療的ケア児者の支援会議を行うが、医療的ケアが必要な児者の場合、ライフサポートファイルだけでは情報を網羅することは難しい。 障がいの程度が重い児童はできないことが多いので、ライフサポートファイルの「できることチェックリスト」は、保護者の精神的負担があるのではないか。
子ども部会 小林部会長	ライフサポートファイルの改善点について、全てを叶えることは難しいが、情報を集めていきたい。
相談支援部会 橋本諭委員	専門部会で話し合った内容や意見を本会にあげてくれているのではない。以前、他市で同じように専門部会の委員をやっていたことがあるが、その市の福祉計画を作成する際、各専門部会からの意見を反映させるように実施していた。委員に熱量があった。野田市の専門部会や本会も、そのようになったらいいと思う。
子ども部会 小林部会長	本会や専門部会で何が話し合われているのか、保護者や事業所等に上手く伝わっていない状況がある。 「熱量」という言葉があったが、自立支援・障がい者差別解消支援地域協議会というものが、開かれたものになるとよい。各委員が参加しているという感覚が大事だと思う。反省している。

子ども部会 小林部会長	ライフサポートファイルについては、保護者等がいつでも意見や使ってみた感想を言える状況を作ることが大事。そのツールを検討していきたい。
子ども部会 小林部会長	ライフサポートファイルを最初にどこで保護者に渡せるのか、最初に活用するタイミングについて、情報共有したい。
子ども部会 古瀬委員	子どもの発達相談室で相談を受けているが、必ずしも障がいがある子どもに関する相談ではないので、全ての保護者にライフサポートファイルを案内することは難しい。子どもの様子を見たうえで案内することはできると思われる。
子ども部会 渡辺委員	当事者としては、当時は子どもの障がいを受容することに精一杯だったので、ライフサポートファイルを記入することは大変だったと思う。今思えば、ライフサポートファイルがあれば、就学時の相談などで活用できたと思うし、子どもの支援について関係機関に知ってもらいたいという気持ちがあるので、活用できたと思う。
相談支援部会 亀井委員	相談支援専門員としては、福祉サービス利用時に案内することができる。保護者が手伝ってほしいと希望するなら、手伝うこともできる。ただ、全ての相談支援専門員が手伝えるかどうかは、分からない。
相談支援部会 橋本諭委員	保護者が子どもの障がいについて受容ができていない段階で、ライフサポートファイルを案内することが適切といえるのか。
相談支援部会 久保委員	ライフサポートファイルについて、市の独自性を持たせすぎると逆に使い勝手が悪くなるのではないか。例えば、福祉サービス利用計画書の代わりとしてライフサポートファイルを使用する場合、それに合わせてソフトを改修する必要があり、野田市だけ別様式でサービス等利用計画書を作成しなければならなくなる。
子ども部会 小林部会長	ライフサポートファイルを作成することの価値観等を、関係機関等で共有する必要がある。
相談支援部会 鈴木委員	保護者もライフサポートファイルの書き方がわからないと、記入できないと思われる。社会福祉協議会で配付しているエンディングノートも配布するだけでなく、書き方講座を行っている。
子ども部会 小林委員	保護者や子どもの様子を見て、ライフサポートファイルを案内することは、児童発達支援でもできると思われる。
医療的ケア児者支	医療的ケア児の保護者としては、療育先、就学先等で支援方法等につい

援部会
渋谷委員

て、同じ内容を話すことになる。これからの医療的ケア児の保護者については、大変な思いをするよりもライフサポートファイルを活用して、就学先等でもう少し楽に情報共有してほしい。

議題2 その他

その他について、委員から何かあるか。

<特になし>

3 閉会

午後3時40分、閉会を宣言した。